

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	須田
	全体計画			経費区分	義務的経費	内線	3644
事務事業名	4285 保育所運営委託事業						
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課						
施 策	02020900 子育て環境の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	030202 民生費・児童福祉費・児童措置費					
	事業	010000 保育所運営委託事業					
事業目的				事業概要・効果			
乳児保育、延長保育などの保育ニーズに対応するため、委託により保育の充実を図る。				市内の7私立保育園、認定こども園、市外の公立・私立保育園21園に保育実施児童の委託を行い、多様化する保育ニーズに対応した。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
市内の6私立保育園（認定こども園）、市外の公立・私立保育園29園に保育実施児童の委託	市内の6私立保育園（認定こども園）、市外の公立・私立保育園21園に保育実施児童の委託
平成29年度 実績	平成30年度 実績
市内の6私立保育園（認定こども園）、市外の公立・私立保育園23園に保育実施児童の委託	市内の6私立保育園（認定こども園）、市外の公立・私立保育園25園に保育実施児童の委託予定
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
市内の6私立保育園（認定こども園）、市外の公立・私立保育園25園に保育実施児童の委託予定	市内の6私立保育園（認定こども園）、市外の公立・私立保育園25園に保育実施児童の委託予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		472,941	475,888
特定 財源	国庫支出金	184,557	236,877
	都道府県支出金	80,764	118,438
	地方債	0	0
	その他	2,230	55,406
一般財源		205,390	65,167
人員数 (人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	726.5	726.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	726.5	726.5
市民一人当たりの経費		9.1	9.1
総額		473,667.5	476,614.5

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	472,941	保育所運営費負担金472,821、施設等利用給付費120
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	475,888	保育所運営費負担金475,888
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	私立による保育は必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	公立だけでは保育はできないので有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	私立による保育は公立より効率的	

振り返り（決算年度の取組み課題）
私立による保育は必要不可欠

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>多様化する保育ニーズに対応するため、私立保育所や認定こども園に運営委託をすることで保育の充実が図られた。</p>		<p>幼児教育保育の無償化により、保育ニーズはより多様化することが見込まれる。全てを公立で賄うことは不可能であり、私立保育所等の安定が重要。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	